

特ラ機構レポート No.205

令和7年7月1日

令和7年「一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構」
通常総会 報告 ... 2

令和7年度 第1回 理事会 報告 6

小電力デジタル（ローパワーデジタル）について ... 8

第25回特ラ機構技術賞 表彰式 12

令和7年度通常総会 懇親会 16

イベント情報 17

東京2025世界陸上財団から
会員の皆様へのお願い ... 18

『EXPO 2025 大阪・関西万博』会場内での
運用について ... 22

『EXPO 2025 大阪・関西万博』に係る
運用連絡票の記入について ... 23

楽天モバイル 700MHz 帯の運用開始に伴う
特定ラジオマイクの混信対策について ... 24

ちょっとブレイク 25

地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた
電波発射について ... 26

事務局便り 27

令和7年「一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構」 通常総会 報告

令和7年6月16日(月)、東京都港区の「明治記念館」において、表記に関する各種議案を審議し、関連行事を実施した。その後、懇親会を開催した。

1. 通常総会 15:00 ～ 16:30 「若竹の間」

令和6年度事業報告, 同年度収支決算ならびに監査報告

令和7年度事業計画(案), 同年度収支予算(案)

令和6年度理事の辞任及び令和7年度新理事の着任

出席者 37 名

2. 技術賞表彰式 16:40 ～ 17:40 「若竹の間」

出席者 63 名

3. 懇親会 18:00 ～ 20:00 「芙蓉の間」

出席者 74 名

1. 通常総会

司会の石川事務局次長から、総数 1,667 会員(令和7年3月31日現在)のうち出席者 24 会員、委任出席者 1,059 会員で定款第 21 条の通常総会開催のための議決権の過半数を有する正会員の出席があり、本通常総会は成立するとの報告があった。

総会の議長選出

定款第 19 条により議長は渡邊理事長が担当した。

議長選出の後、議事録署名人2名の選出があり、川瀬健児理事と小林敬理事が議事録署名人となった。



議長を担当した渡邊理事長



各議案について事務局から説明があった

第1号議案

令和6年度 事業報告

冒頭に渡邊理事長から令和6年度を振り返ると共に、令和7年度の展望について所感を述べられた。

＜所感全文＞

令和6年度は、現在の周波数帯に移行して10年という節目の年でした。移行にあたり700MHz利用推進協会と移行機器の補償条件などを子細に協議したことを思い出します。

TVWS帯に加え、わずか3～4MHz幅の専用帯と1.2GHz帯の共用で移行がスタートしたわけですが、過去8年の統計では、会員が毎年平均で50会員程度増加し、現在では1667会員、局数も5万局を超えています。

また、今年4月に開幕した「大阪・関西万博」については、昨年9月の万博関連4団体合同会議を経て、今年2月にTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会との共催で開催した「第11回関西（近畿広域圏）FPU・ラジオマイク懇談会」にて、万博における電波利用の方法について博覧会協会事務局からの説明と意見交換をおこないました。

楽天モバイルが専用帯のガードバンドである715～718MHzを携帯電話のアップリンクとして運用する件に関しては、当機構会員が運用連絡票を事務局へ提出することで、使用前後1時間を含めて停波することになっておりますのでご安心ください。

令和7年度では、小電力デジタル（ローパワーデジタル）の運用についてが、近々の重要な案件で、7月15日に関東総合通信局との共催で説明会を開催することが決まっております。その後は、小電力デジタルの使用を希望する全国の会員を対象に、Web説明会を展開していく予定ですのでよろしくお願いいたします。

もうひとつ、重要な案件としてお知らせしておきたいのは、「WMAS」というTV1ch分の6MHzを使った新しいブロードバンド帯域のワイヤレスシステムです。一昨年の「InterBee」では、ゼンハイザーが別室で発表した程度でしたが、昨年は、ソニー、ゼンハイザー、シュアの3社が集まり、ヨーロッパやアメリカでの現状と今後の展望についてディスカッションをおこないました。特ラ機構では「WMAS」の制度化に向けたスケジュール案を立てて、令和9年秋の運用開始を目指していることをご報告いたします。

続いて、以下の主要項目の報告を石川事務局次長がおこなった。

1. 会員数と特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 総務省・ARIB
4. 情報収集と調査研究
5. 事務局
6. 理事会・各委員会
7. 組織と管理

令和6年度 収支決算報告並びに監査報告

収支計算書については神守職員、貸借対照表、正味財産増減計算書については木村事務局長が報告をおこなった。その後、伊藤博監事と國枝義久監事が監査報告をおこなった。

上記の第1号議案は異議なく承認された。



議事録署名人の小林理事（左）と川瀬理事（右）

第2号議案

令和7年度 事業計画（案）

1. 会員数と所有する特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 総務省・ARIB
4. 情報収集と調査研究
5. 事務局
6. 理事会・各委員会
7. 組織と管理

以上の主要項目の提案を木村事務局長がおこなった。

令和7年度 収支予算（案）

令和7年度収支予算（案）は松崎職員から提案された。

上記の第2号議案は異議なく承認された。



総会は理事・監事・一般会員の出席にて開催された

第3号議案

令和6年度理事の辞任及び令和7年度新理事の着任について

理事辞任 株式会社サークル 小間新五 理事

株式会社ドリーム 則行正信 理事

新理事候補 株式会社ドリーム 長屋義昭

以上の内容について、木村事務局長から提案があった。

上記の第3号議案は異議なく承認された。

ここで総会を10分休憩して、令和7年度第1回理事会を開催した。現理事2名の辞任と新理事1名の着任が総会で承認された旨の報告をおこない、第1回理事会は終了となった。その後、総会が再開された。

令和7年度 理事・監事の紹介

令和7年度の理事会を担う理事・監事の紹介があった。



小電力デジタルについて

デジタル特定ラジオマイクの新しい運用ルール「小電力デジタル（ローパワーデジタル）」について、現地で配布したパンフレット（8～11ページ参照）をもとに、甲田乃次テクニカルチーフから説明があった。

以上にて、令和7年度の総会は終了した。



小電力デジタルについて説明
する甲田テクニカルチーフ

[理事会報告] 令和7年度 第1回 理事会

1. 日 時 令和7年6月16日(月) 16:15 ~ 16:25

2. 場 所 明治記念館 「若竹の間」

3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 20 名)

出 席 [理事長] 渡邊邦男

[理 事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 小野良行, 川瀬健児, 北口紀雄,
小林 敬, 鈴木久利, 瀬谷正夫, 長屋義昭, 萩原桂吾, 本間俊哉,
右田研介

[監 事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席 [理 事] 大塚 豊, 金光浩昭, 古藤 崇, 吉田諭敏

4. 【報告事項】

令和6・7年度 理事の辞任及び新理事の着任

(1) 小間新五現理事、則行正信現理事からそれぞれの事情により任期満了前に辞任届の提出があった。定款第4章第29条によりこれを受理し、令和7年通常総会にて了承された。

(2) 則行正信理事辞任に伴い、同組織内から新理事候補として株式会社ドリーム長屋義昭氏が令和6年度第6回理事会で審議、推薦され、令和7年通常総会にて了承された。

令和7年度一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構 理事・監事名簿

	役 職	氏 名	所属団体・会社 部署	役 職
1	理 事 長	わたなべ くにお 渡邊 邦男	(一社)特定ラジオマイク運用調整機構	理事長
2	理 事	いけがみ いくお 池上 行大	(株)千代田ビデオ	
3	理 事	いわい よしあき 岩井 佳明	(株)テークワン・オーディオ	代表取締役
4	理 事	うへだ こうせい 上田 好生	(公財)新国立劇場運営財団 技術部	音響課長
5	理 事	おおつか ゆたか 大塚 豊	(株)NHKテクノロジーズ 制作技術部音声	専任部長
6	理 事	おの よしゆき 小野 良行	ヒビノ(株)	顧問
7	理 事	かねみつ ひろあき 金光 浩昭	(株)三光	専門職(音響担当)
8	理 事	かわせ けんじ 川瀬 健児	(株)クレアジャパン	取締役副社長 COO
9	理 事	きたぐち のりお 北口 紀雄	(株)ティー・ピー・オー	代表取締役
10	理 事	ことう たかし 古藤 崇	(株)共立 舞台制作事業本部 音響部	部長補佐
11	理 事	こばやし けい 小林 敬	(株)エディスグローヴ	代表取締役
12	理 事	すずき ひさとし 鈴木 久利	有識者	
13	理 事	せ や まさお 瀬谷 正夫	(株)エス・シー・アライアンス	
14	理 事	ながや よしあき 長屋 義昭	(株)ドリーム	取締役
15	理 事	はぎわら けいご 萩原 桂吾	(株)総合舞台 音響部統括	取締役
16	理 事	ほんま としや 本間 俊哉	東宝(株)帝国劇場 (株)フリックプロ	代表取締役
17	理 事	みぎた けんすけ 右田 研介	(株)若尾総合舞台	取締役
18	理 事	よしだ さとし 吉田 廣嗣	(学)東放学園 キャリアサポートセンター	顧問
19	監 事	いとう ひろし 伊藤 博	有識者	
20	監 事	くにえだ よしひさ 國枝 義久	有識者	

令和7年6月16日現在

～デジタル特定ラジオマイクの運用ルールが変わります～

小電力デジタル（ローパワーデジタル）について

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

●小電力デジタル（ローパワーデジタル）とは

新たな運用ルールである「小電力デジタル（ローパワーデジタル）」は、デジタルマイクの送信出力を 10mW 以下に絞ることによって、デジタルマイク用のチャンネルリストより使用できる TVch が多いアナログマイク用のチャンネルリストをデジタルマイクに適用しよう、というものです。実際にはアナログのリストと同一の内容となっている、小電力デジタル用のリストが総務省から公表される予定で、一定のルールの下、それに沿って運用することになります（令和 7 年 6 月公開予定。実運用の開始は 7 月を予定）。



<現状>

特定ラジオマイクのTVホワイトスペース（アナログ）
特定ラジオマイクのTVホワイトスペース（デジタル）

<今後>

特定ラジオマイクのTVホワイトスペース（アナログ）
特定ラジオマイクのTVホワイトスペース（デジタル）
特定ラジオマイクのTVホワイトスペース（小電力デジタル）

●デジタルのチャンネルリストの方が使用可能な TVch が少ないのはなぜ？

総務省が公表する「TVホワイトスペースチャンネルリスト」は、アナログマイク用とデジタルマイク用の 2 種類があり、アナログのリストに比べて、デジタルのリストの方が使用できる TVch が一般的に少なくなっています。これは、最大送信出力がアナログマイク (10mW) に比べてデジタルマイク (50mW) の方が大きく、同じ周波数帯を共用する地上波テレビ放送への影響も大きくなるため、使用できる TVch が少なくなっているわけです。

●何ができるようになる？

この小電力デジタルにより、デジタルマイクが使用できる TVch が少ない施設でも、より多くのマイクを運用できるようになります。特に多チャンネル運用をしたい場合には、便利な仕組みといえるでしょう。

例えば、関東や近畿・中国の一部エリアでは、地形の特性上、地上波テレビ放送の送信所が多

いため、特定ラジオマイクとして使える TVch が少なくなっています。こういったエリアでも、アナログマイクだけに使用が許された TVch を小電力化したデジタルマイクで使用することができます。

具体的な例で見ると、「日本武道館」（東京都千代田区）の「アリーナ」では、デジタルマイクが使用できる TVch は 13ch 分となりますが、アナログマイクは 21ch 分も使用することができます。送信出力を 10mW 以下にすることによって、デジタルマイクであっても 21ch 分をフルに使用できるようになるというわけです。

チャンネルリストのイメージ

施設名	マイクの種類	TV チャンネル								
		13ch	14ch	—	47ch	48ch	49ch	50ch	51ch	52ch
〇〇市民ホール	アナログ	×	×		○	○	○	○	×	×
	デジタル	×	×		○	○	○	×	×	×

小電力デジタルなら
TV50ch も使用できる!

●小電力デジタルを運用できるようになるには

小電力デジタルの運用を希望する場合、新たなルールを理解して法令を遵守することが求められるため、その会員に所属する運用者が特ラ機構もしくは TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会が主催する説明会に参加して、許可を得た上で運用する必要があります。また、説明会を受けた運用者は、新たな運用ルールに関して自社内の運用者全員に説明し、理解後に運用を始めてください。

特ラ機構では、動画共有サイトなど Web 上での説明会を計画しているほか、情報通信月間セミナーなど機会をとらえて説明会を開催いたします。詳細が決まりましたら、『特ラ機構レポート』や当機構 Web サイト等にてお知らせいたします。

●電力デジタルを運用する際のルール

- ・デジタルマイク（送信機）の送信出力を 10mW 以下に確実に下げて運用してください。
- ・電波の発射前に送信機の出力設定を確実におこない、電波の発射後すぐに適正な出力であることを確認してください。
- ・運用に際しては、これまでと同様、デジタルのリストに掲載の使用可能 TVch から使用することが大前提です。不足した場合にのみ、小電力デジタルのリストに掲載の TVch を使用してください。
- ・TV1ch あたりの最大配置本数をアナログマイクの場合と同じ 7 本以下にしてください。

マイク種別とTV1chあたりの最大配置本数

現在の運用ルール

マイク種別	マイク1本の最大出力 (マイク1本あたり)	最大配置本数 (地デジ1chあたり)	使用するチャンネルリスト
アナログ方式	10mw	7本	アナログチャンネルリスト
デジタル方式	50mw	10本	デジタルチャンネルリスト

今回追加する運用ルール



マイク種別	マイク1本の最大出力 (マイク1本あたり)	最大配置本数 (地デジ1chあたり)	使用するチャンネルリスト
小電力デジタル方式	10mw	7本	小電力デジタルチャンネルリスト

- ・「運用連絡票」は、特ラ機構が別途用意する小電力デジタルに対応した書式のものを使用して記入し、特ラ機構へ提出してください。小電力デジタルに対応した運用連絡票は、説明会受講済みの会員にのみ配布いたします。

マイク種別とTV1chあたりの最大配置本数

運用連絡票 (一社)特定ラジオマイク運用調整機構

E-mail rm-unyo@radiomic.org

提出日 2025/6/5

新規
変更
削除

新規

会員情報

会員番号 -

会員名

部署

運用担当者

Tel

E-mail

* メールは運用調整連絡が生じる場合のみ送信されます。予めご了承下さい。

現地使用者 **氏名(ふりがな)**

Tel **E-mail**

催事名

コメント: ※

※ 変更内容(局数、日時、現地使用者、使用場所、使用チャンネルなど)・キャンセルの旨・その他、伝達事項をご記入下さい。

使用マイク数	TV WS			※ 710-714(53ch)			1.2G(基本はLです。)			
	10mW	20mW	50mW	10mW	20mW	50mW	10mW	20mW	50mW	L,M,H
送信出力 (mW)										
アナログ RM		---	---		---	---		---	---	
〃 EM		---	---		---	---		---	---	
デジタル RM										

※ 710-711MHz(GB)はTVWSチャンネルリスト52chに○がある施設の適用エリアでのみ使用可能です。

TVWS の使用申請で、状況により「53ch」を併用する可能性がある場合：右枠に○印をご記入下さい。その場合使用マイク数はすべてTVWS枠に記入して下さい。 ➡

使用マイク数	小電力デジタル (LPD)		
送信出力 (mW)	10mW	20mW	50mW
LPD RM	※	---	---
LPD EM	※	---	---

注-1) デジタルラジオマイクを10mW以下で運用する際に使用すること
注-2) TVch 6MHz幅に於いて総エネルギー 70mW以下で使用すること

※ LPDの使用マイク数はすべて小電力デジタル枠に記入して下さい。記入完了後、右枠に○印をご記入下さい! ➡

1 日付 ~ 時間 ~

使用場所 **〒** **住所**

屋内/屋外 **施設名**

TVWS **適用エリア名称**

チャンネルリスト **使用TVチャンネル**

2 日付 ~ 時間 ~

- ・運用調整が発生した際に関係者へEメール送信される「運用調整についてのお願い」について、
今後は小電力デジタル運用時の情報も記載されるようになりますのでご注意ください。

「運用調整についてのお願い」小電力デジタルに関する情報の追加箇所

これまで	使用日(曜日)	アナログチャンネル	局数RM	A10mW	D10mW	D20mW	D50mW	エリア
	使用日時	デジタルチャンネル	EM	WS GB 専	WS GB 専	WS GB 専	WS GB 専	放送ch
	2024/09/09(月)	35,36,37,38		- * -	5 - -	- - -	- - -	
	09:00～23:59	41,42,43,44		5 * -	- - -	- - -	- - -	

LPD追加後

ヘッダ文言を変更

スラッシュ区切りでLPDのチャンネルを表示

LPDの機器台数を表示

使用日(曜日)	アナログ/LPD	局数RM	A10mW	D10mW	D20mW	D50mW	LPD	エリア
使用日時	デジタル	EM	WS GB 専	WS GB 専	WS GB 専	WS GB 専	WS	放送ch
2025/09/09(火)	35,36,37,38/48,49,50,51,52	-	* -	5 - -	- - -	- - -	20	
09:00~23:59	41,42,43,44	5	* -	- - -	- - -	- - -	-	

※ LPD = 小電力デジタル(ローパワーデジタル)

「小電力デジタル」は、使用できるTVchの少ないエリアで多チャンネル運用をする場合、特に便利な仕組みとなるでしょう。同じTVホワイトスペース帯を共用する地上波テレビ放送への影響を防ぐため、運用ルールをしっかりと理解した上で活用してください。

<本件に関するお問い合わせ>

(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

電 話：03-5273-9806

Eメール：office@radiomic.org

令和7年6月版

第25回 特ラ機構技術賞 表彰式

令和7年6月16日(月) 16:40～17:40

第25回特ラ機構技術賞の表彰式が、通常総会後に同会場にて開催された。

選考委員は以下のとおり。

委員長：渡邊邦男（特ラ機構 理事長）

委員：石橋透（特ラ機構 元理事 学識経験者）

上田好生（特ラ機構 理事 新国立劇場）

高山浩明（特ラ機構 賛助委員会委員

（株フォノフ）

武藤一郎（元 青山劇場 技術部長）

渡辺聖尚（特ラ機構 事務局）

以上の6名。



技術賞委員会 渡邊委員長

今回は学生部門3作品、一般部門2作品の計5作品の応募があり、最終選考を令和7年4月11日(金) 13:00～ 株式会社エス・シー・アライアンスのスタジオにておこなった。

受賞作品は以下のとおり。

第25回 特ラ機構技術賞 受賞者一覧

【学生部門】

銀 賞 東放学園専門学校

ドラマ「碧の夕暮れ」

金 賞 放送芸術学院専門学校

ミュージカル「明日への扉 Hospital Of Miracle」

金 賞 日本大学芸術学部 映画学科

小倉 咲里

映画「はなびのひ」



司会進行 小西事務局員

【一般部門】

奨励賞 聖書キリスト教会 東京教会
朗読音楽劇「バラバ」

奨励賞 Satisfy My Soul Gospel Choir
「BLESSED TOGETHER」

【八幡賞】

日本大学芸術学部 映画学科

小倉 咲里

映画「はなびのひ」



第25回 特ラ機構技術賞
表彰楯と八幡賞クリスタルトロフィー

【第25回 特ラ機構技術賞】

学生部門 銀賞

東放学園専門学校 ドラマ「碧の夕暮れ」

表彰楯 本文

碧の雨傘シーンすてきでした。まだまだ勉強すること多々あるでしょうが、実践から学ぶ良い機会でした。この感覚を大切に来年にバトンを繋いで下さい



放送音響科 主任 大澤 竜哉 様
放送音響科 職員 荒城 尚輝 様

学生部門 金賞 放送芸術学院専門学校
ミュージカル「明日への扉
Hospital Of Miracle」

表彰楯 本文

歌やセリフを支え、音響の素晴らしさを伝えているのが、ワイヤレスマイクの準備段階からの入念なチェックです。

プロになっても初心を忘れず実践して下さい。
演奏とのバランスも良く音を創り表現する力は十分に発揮されていました。



放送芸術学院専門学校
前木 絢那 様 岩本 梓 様

学生部門 金賞 日本大学芸術学部 映画学科
小倉 咲里
映画「はなびのひ」

表彰楯 本文

冒頭から作品に引き込まれ、気付いたら花火の火が消えていました。

激しい表現スタイルが受け入れられがちな昨今で、優しくやわらかな音の世界を思い出させてくれました



日本大学芸術学部 映画学科
小倉 咲里 様

一般部門 奨励賞 聖書キリスト教会 東京教会
朗読音楽劇「バラバ」

表彰楯 本文

神の愛を考えさせられる物語。それを具現化したキャスト・プレーヤー・スタッフの努力を讃えます。
すてきな作品だからこそ演出を工夫して出演者がより輝ける舞台を期待します。



聖書キリスト教会 東京教会
長谷川 千洋 様 長谷川 真弥 様

一般部門 奨励賞

Satisfy My Soul Gospel Choir
「BLESSED TOGETHER」

表彰楯 本文

「ハレルヤ」の大合唱で終わるコンサート。
リードボーカルとクワイア、そして伴奏とのバ
ランスも良く会場の雰囲気が伝わってきました。音
の世界にも「ハレルヤ」を送ります。



Satisfy My Soul Gospel Choir
長谷川 千洋 様



第 25 回 特ラ機構技術賞 受賞者のみなさま

八 幡 賞

日本大学芸術学部 映画学科 小倉 咲里
映画「はなびのひ」

業界発展のためにご尽力され、
令和 3 年 2 月 25 日に亡くなら
れた八幡泰彦名誉会長を顕彰
して設定された賞。その年の
特に優れた作品に贈呈し、今
年で 11 回目となる。



八幡賞
クリスタルトロフィー



日本大学芸術学部 映画学科
小倉 咲里 様

令和7年 通常総会 懇親会

令和7年6月16日(月) 18:00～20:00

明治記念館 芙蓉の間

特ラ機構技術賞表彰式の後、場所を変えて懇親会が開催された。

ご来賓の総務省総合通信基盤局電波部移動通信課の田野様からご挨拶をいただき、乾杯のご発声を当機構理事である株式会社エディスグローヴの小林様からいただいた。中締めのご挨拶は株式会社映像新聞社の信井様からいただき、令和7年度通常総会の懇親会は幕を閉じた。



総務省総合通信基盤局
電波部移動通信課 課長補佐
田野 正行 様



乾杯のご発声をいただいた
株式会社エディスグローヴ 代表取締役
小林 敬 様



中締めのご挨拶をいただいた
株式会社映像新聞社 会長
信井 文夫 様



懇親会 会場の様子

イベント情報

お仕事が決まりましたら、機材を揃える前に運用連絡票をお送り頂けると、会場内での混雑状況を事前に把握することが出来ます。

また運用連絡票にはご使用になるホール名やブース名などの詳細情報をご記入頂きますと、会員同士のコミュニケーションも取り易くなりますので、ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。

日 程	展 示 会 名	会 場
7 月 9 日～ 11 日	★ものづくりワールド【東京】	幕張メッセ
7 月 23 日～ 25 日	★ AI World 2025【夏】	幕張メッセ
7 月 23 日～ 25 日	★ FOODEX JAPAN in 関西 2025	インテックス大阪
8 月 16 日～ 17 日	★ SUMMER SONIC 2025	幕張メッセ

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪



ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



東京2025世界陸上財団から会員の皆様へのお願い

2025 年 9 月 13 日から 21 日までの 9 日間、東京で「世界陸上競技選手権大会」が開催されます。日本での開催は今回が 3 回目。東京での開催は 2 回目で、前回の 1991 年以来、実に 34 年ぶりの開催となります。

大会期間中は、国立競技場やマラソン・競歩コースの周辺で、多くのラジオマイクを使用する予定です。混信が生じないように、運用調整のお願いをする場合がございますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

○使用場所

競技会場（国立競技場、マラソンコース、競歩コース）及びその周辺

【マラソンコース】



<マラソンの競技日程>

大会第2日	9月14日(日)	8:00 スタート	女子マラソン
大会第3日	9月15日(月・祝)	8:00 スタート	男子マラソン

【競歩コース】



＜競歩の競技日程＞

大会第1日	9月13日(土)	8:00	スタート	女子35km 競歩・男子35km 競歩（同時実施）
大会第8日	9月20日(土)	7:30	スタート	女子20km 競歩
		9:45	スタート	男子20km 競歩

○大会での使用周波数帯

TVWS 帯（470 ～ 710MHz）、特定ラジオマイク専用帯（710 ～ 714MHz）、1.2GHz 帯
 ※特定ラジオマイクのほか、運用調整の対象外ですが、B 型ラジオマイク、C 型ラジオマイクの使用も予定しています。

○運用調整の流れ

会員の皆様との間で「運用調整についてのお願い」が出た場合には、個別に運用調整を実施いたします。使用周波数が重複する場合は、周波数の調整をご相談する予定です。

また、世界陸上で使用しない日程等がある場合には、運用調整時にご連絡いたします。

【混信判定 ⇒ 互いに運用予定について確認 ⇒ 運用する周波数等を調整】

○急遽ラジオマイクの使用が決まった場合の運用調整

通常、特ラ機構事務局の 2 営業日前までの運用連絡となっておりますが、なるべく早めに運用連絡をいただけますと幸いです。「運用調整についてのお願い」が出た場合には、大会で使用する周波数と重複しないよう運用調整をいたします。

○運用調整及び混信が疑われる場合の連絡先

運用調整は、海外事業者によるラジオマイクの使用も含め、東京 2025 世界陸上財団がこなっています。運用調整のご連絡及び会場からの混信が疑われる場合は、下記までご連絡をお願いいたします。

○本件の問い合わせ先

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団 業務室 情報技術部

＜運用調整に関すること＞

E メール：Application@WATokyo25-spectrum.com

＜セッションスケジュール等、運用調整以外に関すること＞

E メール：2410@WATokyo25.com

東京 2025 世界陸上公式 Web サイト：

<https://worldathletics.org/jp/competitions/world-athletics-championships/tokyo25>



○東京 2025 世界陸上 セッションスケジュール

DAY 1 09/13 Sat

MORNING SESSION

08:00	35km競歩	男	決勝
08:00	35km競歩	女	決勝
09:00	円盤投	女	予選A
10:55	砲丸投	男	予選
10:55	円盤投	女	予選B
11:08	100m	男	予備予
11:40	4 x 400mリレー	混	予選

DAY 1 09/13 Sat

EVENING SESSION

18:05	3000m障害物	男	予選
18:15	走幅跳	女	予選
18:50	棒高跳	男	予選
18:55	100m	女	予選
19:50	1500m	女	予選
20:35	100m	男	予選
21:10	砲丸投	男	決勝
21:30	10000m	女	決勝
22:20	4 x 400mリレー	混	決勝

DAY 2 09/14 Sun

MORNING SESSION

08:00	マラソン	女	決勝
09:00	ハンマー投	女	予選A
09:35	1500m	男	予選
10:45	ハンマー投	女	予選B
11:20	100mハードル	女	予選

DAY 2 09/14 Sun

EVENING SESSION

18:35	400m	男	予選
18:40	走高跳	男	予選
19:10	円盤投	女	決勝
19:25	400m	女	予選
20:20	100m	女	準決勝
20:40	走幅跳	女	決勝
20:43	100m	男	準決勝
21:05	1500m	女	準決勝
21:30	10000m	男	決勝
22:13	100m	女	決勝
22:20	100m	男	決勝

DAY 3 09/15 Mon

MORNING SESSION

08:00	マラソン	男	決勝
09:00	ハンマー投	男	予選A
09:05	棒高跳	女	予選
09:15	3000m障害物	女	予選
10:45	ハンマー投	男	予選B
11:20	400mハードル	女	予選

DAY 3 09/15 Mon

EVENING SESSION

19:35	400mハードル	男	予選
19:40	走幅跳	男	予選
20:10	棒高跳	男	決勝
20:20	110mハードル	男	予選
21:00	ハンマー投	女	決勝
21:05	100mハードル	女	準決勝
21:30	1500m	男	準決勝
21:55	3000m障害物	男	決勝
22:20	100mハードル	女	決勝

DAY 4 09/16 Tue

EVENING SESSION

19:35	800m	男	予選
19:40	三段跳	女	予選
20:35	走高跳	男	決勝
20:40	110mハードル	男	準決勝
21:00	ハンマー投	男	決勝
21:05	400m	女	準決勝
21:35	400m	男	準決勝
22:05	1500m	女	決勝
22:20	110mハードル	男	決勝

DAY 5 09/17 Wed

EVENING SESSION

19:05	三段跳	男	予選
19:10	やり投	男	予選A
19:30	200m	女	予選
20:10	棒高跳	女	決勝
20:15	200m	男	予選
20:45	やり投	男	予選B
20:50	走幅跳	男	決勝
21:00	400mハードル	女	準決勝
21:30	400mハードル	男	準決勝
21:57	3000m障害物	女	決勝
22:20	1500m	男	決勝

DAY 6 09/18 Thu

EVENING SESSION

19:05	5000m	女	予選
19:15	走高跳	女	予選
19:23	やり投	男	決勝
19:55	800m	女	予選
20:55	三段跳	女	決勝
21:02	200m	男	準決勝
21:24	200m	女	準決勝
21:45	800m	男	準決勝
22:10	400m	男	決勝
22:24	400m	女	決勝

DAY 7 09/19 Fri

EVENING SESSION

17:33	七種競技 100mハードル	女	
18:20	七種競技 走高跳	女	
19:30	やり投	女	予選A
20:05	5000m	男	予選
20:30	七種競技 砲丸投	女	
20:45	800m	女	準決勝
20:50	三段跳	男	決勝
21:00	やり投	女	予選B
21:15	400mハードル	男	決勝
21:27	400mハードル	女	決勝
21:38	七種競技 200m	女	
22:06	200m	男	決勝
22:22	200m	女	決勝

DAY 8 09/20 Sat

MORNING SESSION

07:30	20km競歩	女	決勝
09:20	十種競技 100m	男	
09:25	円盤投	男	予選A
09:45	20km競歩	男	決勝
10:05	十種競技 走幅跳	男	
10:10	砲丸投	女	予選
10:55	円盤投	男	予選B
11:30	七種競技 走幅跳	女	
11:45	十種競技 砲丸投	男	

DAY 8 09/20 Sat

EVENING SESSION

19:00	七種競技 やり投	女	
19:05	十種競技 走高跳	男	
19:35	4 x 400mリレー	男	予選
19:56	砲丸投	女	決勝
20:00	4 x 400mリレー	女	予選
20:25	4 x 100mリレー	男	予選
20:45	4 x 100mリレー	女	予選
21:06	七種競技 800m	女	決勝
21:10	やり投	女	決勝
21:26	十種競技 400m	男	
21:50	800m	男	決勝
22:05	5000m	女	決勝

DAY 9 09/21 Sun

MORNING SESSION

09:05	十種競技 110mハードル	男	
09:55	十種競技 円盤投	男	A組
11:05	十種競技 円盤投	男	B組
11:35	十種競技 棒高跳	男	A組
12:20	十種競技 棒高跳	男	B組

DAY 9 09/21 Sun

EVENING SESSION

17:40	十種競技 やり投	男	A組
18:45	十種競技 やり投	男	B組
19:30	走高跳	女	決勝
19:35	800m	女	決勝
19:50	5000m	男	決勝
20:00	円盤投	男	決勝
20:25	4 x 400mリレー	男	決勝
20:40	4 x 400mリレー	女	決勝
20:55	十種競技 1500m	男	決勝
21:10	4 x 100mリレー	女	決勝
21:20	4 x 100mリレー	男	決勝



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 2025

2024年10月31日現在
今後、各競技の開始時間が変更される場合があります。
(各競技の実施日・セッションの変更はありません。)

13-21 SEPTEMBER 2025

『EXPO2025 大阪・関西万博』会場内での運用について

「2025 大阪・関西万博」の会場内にて特定ラジオマイクを運用する場合、以下の事前手続き等が必要となります。

- ・博覧会協会 Web サイト「EXPO2025 関係者ポータル」から「無線機利用申請」をする。
- ・博覧会協会によるタギング（送信機にシールを貼付）と周波数割り当てを受ける。
- ・特ラ機構へ「運用連絡票」を提出する。

「無線機利用申請」につきましては、当機構 Web サイトから「無線機利用申請マニュアル」（※）をダウンロードの上、手順に沿って「EXPO2025 関係者ポータル」にて必要情報を登録してください。その後、博覧会協会によるタギングと運用周波数の割り当てを受けてください。

また、同時進行にて「運用連絡票」を特ラ機構へご提出ください。

※特ラ機構 Web サイト「2025 大阪・関西万博に関する運用について」

<https://www.radiomic.org/information/202503.html>

<本件の問い合わせ先>

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

ICT 局 ROC チーム

E メール：ict-wirelessteamexpo2025.or.jp@expo2025.or.jp

『EXPO2025 大阪・関西万博』に係る運用連絡票の記入について

大阪・関西万博会場内で特定ラジオマイクを運用する場合、特ラ機構事務局へご提出いただく「運用連絡票」については、以下の情報を記載してください。

- ・催事名は「大阪・関西万博」とご記入の上、続けてイベント名などを記載してください。
- ・「無線機利用申請」について、申請済みもしくは申請中の場合は、その旨をコメント欄に記載してください。未申請の場合は、早急に申請作業を進めてください。
- ・「無線機利用申請」の申請名義が貴会員以外の場合、申請会社様の名称が分かるようであればコメント欄に記載してください。
- ・「無線機利用申請」の番号（「RA-」で始まる9桁の数字）が分かるようであれば、コメント欄に記載してください。

「運用連絡票」の情報は博覧会協会へ共有され、適正な運用をいち早く確認するための手段となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

＜コメント欄記入例＞

現地使用者	氏名(ふりがな)					
	Tel				E-mail	
催事名		大阪・関西万博 ×××イベント				
コメント:		関係者ポータル登録済み(登録名義:株式会社××××)				
		無線機利用申請番号:RA-000001234				
		※変更内容(局数、日時、現地使用者、使用場所、使用チャンネルなど)・キャ				
使用マイク数		TV WS			※710-714(5)	
送信出力(mW)		10mW	20mW	50mW	10mW	20mW

＜本件の問い合わせ先＞

特定ラジオマイク運用調整機構

電話：03-5273-9806

Eメール：office@radiomic.org

「楽天モバイル 700MHz 帯の運用開始に伴う 特定ラジオマイクの混信対策について」

令和 7 年 2 月末、特ラ機構のすべての会員に対して、楽天モバイル株式会社と当機構の連名にて「楽天モバイル 700MHz 帯の運用開始に伴う特定ラジオマイクの混信対策について」というご案内文章ならびに別紙の資料を郵送いたしましたのでご参照ください。

移動会員の方々は今までどおり「運用連絡票」をお送りいただければ、700MHz 帯携帯基地局のサービスエリアに係る場合、携帯基地局側の 700MHz 帯の電波を制御いたします。

固定会員の方々には、700MHz 帯携帯基地局の建設計画に基づき、今後、楽天モバイル株式会社から特定ラジオマイクの運用に係るお問い合わせが入るかと思いますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

＜ルール等を含めた全般のお問い合わせ先＞

特定ラジオマイク運用調整機構（担当：甲田）

電 話：03-5273-9806

E メール：office@radiomic.org

＜端末干渉発生時の緊急お問い合わせ先＞

楽天モバイル株式会社

電 話：03-6259-1094

E メール：rmn-NOC-ope1@mail.rakuten.com

ちょっとブレイク

『その杖が奏でる音は？』



前回から続いて“100db かあちゃん”ことおぶはるちゃんです。あの投稿から日々ネタを考えるようになりまして、またこのコーナーの編集委員長も投稿を歓迎してくださったのでお言葉に甘えて今月もお付き合いください。

みなさんは“白杖（はくじょう）”はご存じですか？目が見えない、見えにくいなどの視覚に障がいのある方が、歩行する際に使用する杖（つえ）のことです。

ある朝、職場の最寄り駅で下車してホームの階段を上っていると「カーン」「カーン」と一定のテンポの音が鳴っていて、何の気なしに前を見ると特に珍しいわけではないのですが白杖を階段に当てながら上っている方がいました。

数年前に職場で視覚障害を持った方へのサポート研修があり、体の一部（肘や肩）をつかむ人や何もつかまず声のみのサポートで歩行する人、白杖を使ったSOSサイン、実際に目隠しして視界を遮った状態での白杖を使った歩行やサポートを受けてみる体験に参加してから街中で白杖を持った方を見ると気に掛かるようになりました。点字ブロックにたどり着けるかな？とか。

その日の朝もなんとなくその方に目がいったのですが、白杖の音に耳を傾けるとその方は白杖を当てるテンポ、歩幅、歩く

速さすべてが一定のリズムとテンポだったことに気が付きました。それは一切の乱れもなく決められた一步を刻んでいる…!! 今までに見かけてきた方はなんとなく歩く速さと白杖の当たるテンポにズレがあった様に感じていました（おそらく自分の中で決めている何かを基準に歩いていらっしまったのかもしれませんが）。しかしその時の私は洗礼された“それ”に目を奪われたのです。白杖1本に命を預けている、一心同体とはまさしくこのことなのではないかと衝撃を受けました。テンポは Andante（＝歩くような速さで）、音楽を奏でているような歩行でした。

あの一步一步のテンポ・リズムを保つまでにどれほどの訓練をされてこられたのだろう？と壮大なイメージを膨らませながら、わたしとは反対側の改札口へ向かうその人を静かに見送って出社した朝なのでありました。

P.S.：100db かーちゃんは小心者なので見守ることしかできませんでした（震）
（兵庫県立芸術文化センター おぶはるちゃん）

編集室から...

おぶはるちゃん、
2回に渡り原稿をお寄せいただき
ありがとうございました！
『音』に関するテーマで書いていただき、
大変興味深かったです。





地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、地上デジタル放送の高度化に向けて、実験試験局での実証実験を継続してまいります。

2024年度に計画しておりました実証実験は、会員の皆様のご理解とご協力を賜り、すべて計画通りに行うことができました。改めて厚くお礼申し上げます。

2025年度は、名古屋・三重地区において、地上テレビ放送の高度化に向けた実証実験のための電波発射を計画しております。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2025年7月以降の電波発射スケジュールの詳細は、調整中ですが日程が決まり次第改めてご連絡いたします。

<2025年7月のスケジュール>

地 区	電波発射スケジュール[注1]	TVチャンネル	備 考
三重(津)	7月22日～7月25日	UHF25ch	
三重(伊勢)	7月22日～7月25日	UHF25ch	

[注1] 電波発射時間は、原則として土日祝を除く平日の10時～18時となります。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。日程が決まりましたら、当該免許人様と個別にスケジュール確認および運用調整をさせていただきます。その際はご協力よろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認いただきますよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ4K・8K実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしておりますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

事務局便り



■予算書の送付について

自治体、公共団体等の予算編成の時期がやってまいります。関係会員には 令和 8 年度に必要な機構関係費用を「予算書」として 7 月中旬頃までに送付する予定です。

「予算書」は次年度に特ラ機構から請求させて頂く予定の金額を前もってお知らせするものであり、今年度（令和 7 年度）の金額ではありませんのでご注意ください。

